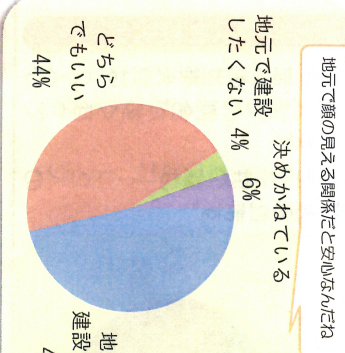


住宅再建に関する希望

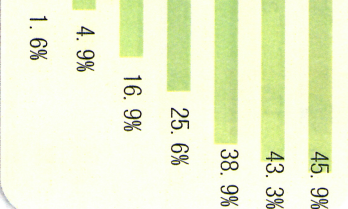
①地元を住宅会社に求める理由

地元再建を希望する方の半数は意向を持っていることがわかりました(左グラフ)。  
またその理由をグラフに表していき、親類・知り合いがいることで、アフターメンテナンスが安心であること、希望通りの住空に仕上がること、希望に合った見えない関係が安心感につながるといふことがわかります。

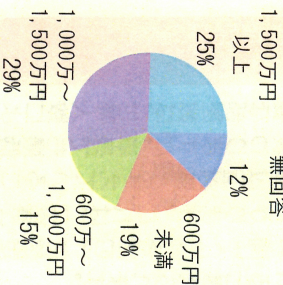


地元で建設の見える関係だと安心なんだね

②補助金や助成金を除いた自己負担額(借入を含む)は、1千万円以上が半数以上を占めています。



自己負担額(借入を含む)は、1千万円以上が半数以上を占めています。



1千万円未満の方も約2割いらっしゃることがわかります。

連絡会通信 特別号

2014年2月20日発行

陸前高田市 仮設住宅連絡会

〒029-2205 陸前高田市高田町字嶋石5-1 第一中学校仮設住宅集会所内 (0192) 47-4385 rikuaidokaiseisus@gmail.com



みんなは住宅再建についてどう考えているのかな?

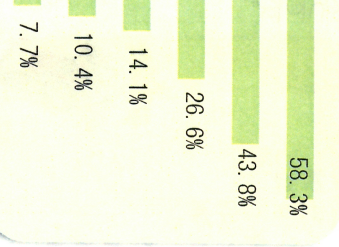
住宅の自立再建等に関する意向調査 集計報告

調査者：気仙山広域圏東未来都市推進事業体、地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 北方建築総合研究所、陸前高田市仮設住宅連絡会  
調査協力：陸前高田 住まいの再建を考える会、平成25年11月上旬～12月上旬  
調査期間：平成25年11月上旬～12月上旬  
配布・回収状況：配布2014通、回収902通、回収率45%  
アンケートに関する問合せ：北方建築総合研究所 鈴木、石井(0166-66-4228)

集計結果がまとまりました！  
このアンケートは、国土交通省が実施する平成25年度「住宅市場技術基盤強化推進事業」の一環として実施いたしました。皆さまが考える住宅に対するニーズを把握することを目指しています。結果は、陸前高田市で住宅供給体制の検討の参考とさせていただきます。  
皆さまのご協力により、主に住宅の自立再建を目指す方を中心に、大変多くのご回答をいただきました。回答率45%というのには高い結果です。厚く御礼を申し上げます。  
今回、連絡会通信の紙面をお借りして、皆さまの声を以下に集計させていただきます。今後の参考にさせていただきます。  
ながら、今後の参考にさせていただきます。

③住まいの再建へ向けての詳しい情報

住宅再建を目指す方は、「住まい再建入の各種支援制度の説明」を得たいとする人が多くいます。また、「消費税増税」や「建設価格の変動・高騰」などにも関心が高いようです。



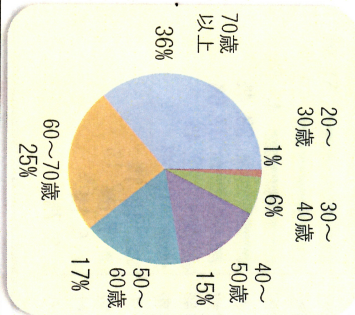
わかりやすい説明があるといいなね！



回答者はどんな人?

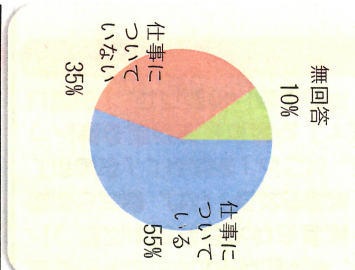
①世帯主となる方の年齢

60～70歳、70歳以上が合わせて約6割を占めています。



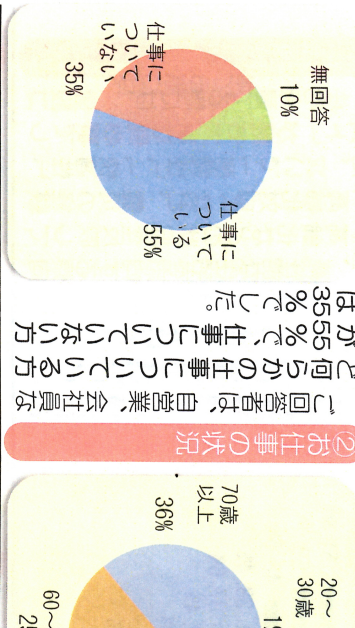
②お仕事の状況

ご回答者は、自営業、会社員など何らかの仕事についている方が55%です。無回答は35%でした。



仮設住宅の所在地ごとの傾向

仮設住宅の所在地ごとの傾向をみると、高田町、気仙町、広田町はそれぞれに居住していた方が多くを占めます。一方、竹駒町、矢作町、横田町、住田町の仮設住宅居住者は、他の地区から入居された方が比較的多いようです。



おわりに

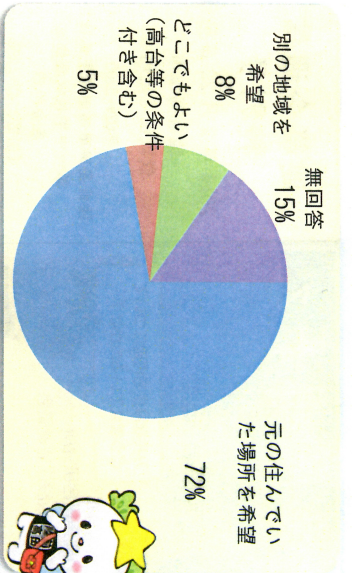
アンケートにご協力をいただきました。再建する住宅については、これまでお話しした地域特有の住宅へのイメージや、暮らしの中で身近な庭や軒など、想像された方が多くいらしたことを、快適性や耐震性、高齢者対応など、一定の機能を求める声も多かった様子です。また、ここでご紹介できた皆様のご心配やお考えを多くお寄せいただきました。本アンケート結果は、皆さまの住まいの再建を支援する活動の参考にさせていただきます。

④結果の閲覧先  
本結果をまとめた詳細な報告書とともに、各仮設住宅の集会所などで、また、インターネットで紹介いたします。詳しくは、連絡会通信でご案内させていただきます。

⑤今後、調査団体が主催でない報告を行うに際しては、積極的にご意見をいただきたく思います。

### お住まいへの希望

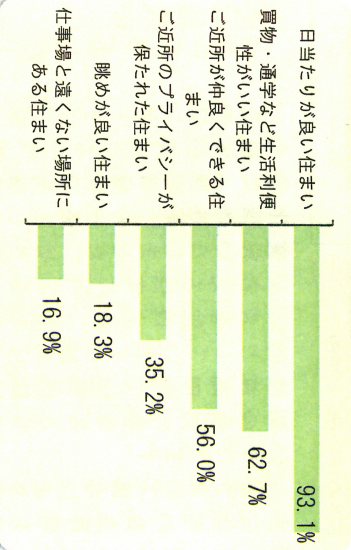
① 住みたい場所  
 「回答の「元住んでい  
 た場所を希望  
 72%  
 別の地域を  
 希望  
 8%  
 どこでもよい  
 (高台等の条件  
 付き含む)  
 5%  
 無回答  
 15%



とわかりました  
 を「ほとんどの人が抱いているこ  
 た地域におびたい」という意向  
 震災前に住んでいた、住み慣れ  
 が同じ地域を示していました。

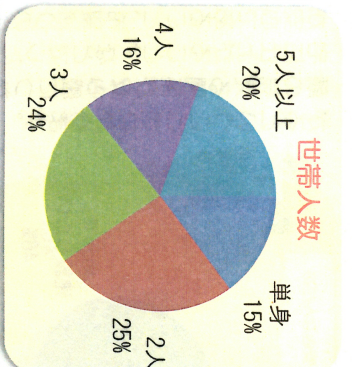
### 新たな住宅において

② 新たな住宅において  
 実現したいと思つ住ま  
 新たな住宅において実現した  
 いお住まいの希望は、「日当たりの  
 が良い住まい」が最も多く、「生  
 活利便性」「近所が仲良くでき  
 る住まい」が続いて多く回答され  
 ていました。  
 利便性などは重視しながらも、  
 人のつながりを大切にしたいと  
 いう気持ちを読み取ることがで  
 きます。

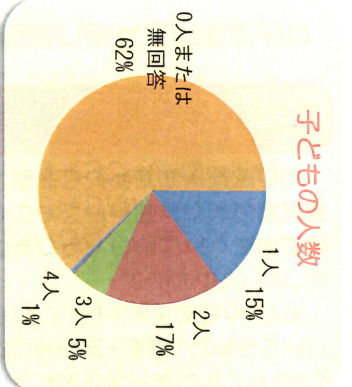


### お住まいの世帯人数

③ お住まいの世帯人数は、2人か  
 ら4人までの割合が多くなって  
 います。  
 また、子供の数は、1〜2人の  
 方がみられます。

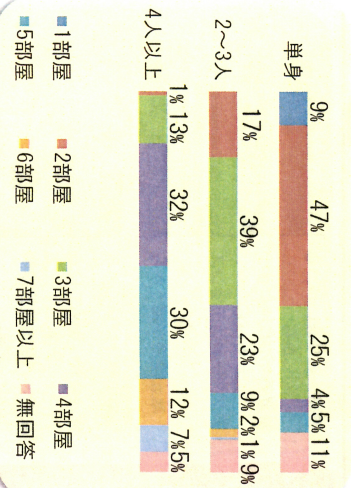


### 子どもの人数



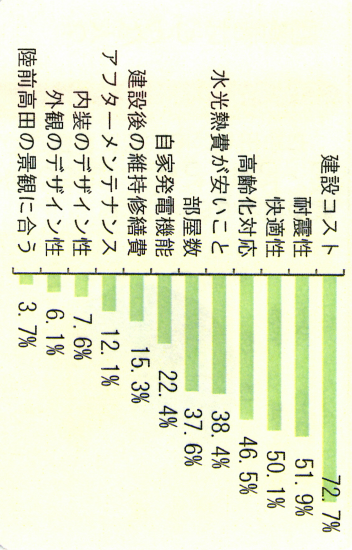
### 必要な部屋数

④ 必要な部屋数は、世帯人数によ  
 って変わりますが、単身でも最低  
 2部屋以上必要とされているこ  
 とがわかります。これは、「寝室」  
 +「洗面」(公間を含む)を想定  
 していると考えられます。  
 世帯人数が多くなるほど、人数と  
 同じ部屋数(たとえば1人世帯な  
 らら3部屋)と考える方が多いこ  
 とです。夫婦であれば寝室は2人で  
 1部屋でもよいという考えでし  
 ょうか。



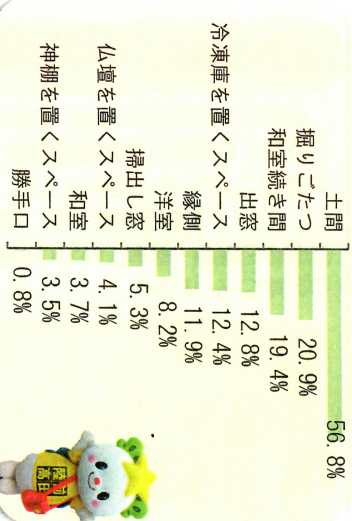
### 住宅建設で重要と思つこと

⑤ 住宅建設で重要と思つこと  
 住宅を建てる際には、「建設コ  
 スト」が最も大きな関心事でし  
 ました。次いで「耐震性」「快適性」  
 や高齢化対応(高齢化知能)など、  
 「高齢化対応」などの状況を反映して  
 かみられました。  
 一方、内装及び外観の「デザイン  
 性」や「陸前高田の景観に合うこ  
 と」は比較的重要視しない傾向にあ  
 りました。



### 室内空間や間取りに関して

⑥ 室内空間や間取りに関して  
 必要と考えるもの  
 室内空間に関して、「土間」  
 は不要と考える方が半数以上い  
 らっしゃいました。また、「掘り  
 こたつ」や「和室続き間」が次に  
 多いですが、回答率はそれほど多  
 くはめません。  
 一方、「勝手口」「仏壇」や「神  
 棚」など、不要と考える方はわずか  
 です。多くの方が必要と考えている  
 ものです。



### 希望する住宅の階数

⑦ 希望する住宅の階数は、二階建てが半  
 を占めています。少ない敷地の中  
 でも住宅の面積を確保するため  
 には、二階建てを検討されている  
 かもしれません。  
 住宅の階数は、二階建て  
 29%  
 平屋建て  
 21%  
 特になし  
 11%  
 決めかね  
 ている  
 6%  
 無回答  
 3%



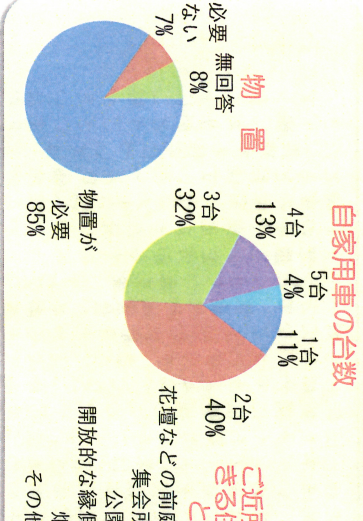
### 住宅の外観デザインへの希望

⑧ 住宅の外観デザインへの希望  
 りはないという方が半数以上を  
 占めました。また、「和風調」と  
 考えている方は3割でした。  
 洋風調  
 12%  
 和風調  
 28%  
 無回答  
 6%  
 特にこだわり  
 はない  
 54%



### お住まいの外部空間に

⑨ お住まいの外部空間に  
 必要と考えるもの  
 お住まいの外部空間に必要な  
 ものとして、花壇などの前庭や、  
 自動車の駐車場、物置について必  
 要と考える方が多くいらっしや  
 いました。限られた敷地の中で、  
 これらの配置なども考えていく  
 必要があります。



### 近所が仲良く できる住まいに必要 と思つもの

